

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-224629

(43)Date of publication of application : 08.08.2003

(51)Int.Cl.

H04M 1/00
G06F 3/023
H03M 11/08

(21)Application number : 2002-062702

(71)Applicant : DAIHAMA YOSHIO

(22)Date of filing : 30.01.2002

(72)Inventor : DAIHAMA YOSHIO

(54) INPUT SYSTEM FOR PORTABLE TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that many keys are pressed by a conventional input method for cyclic type input.

SOLUTION: The input system of a portable telephone set is characterized by that a character symbol or picture symbol is inputted by pressing a row number and a column number twice; and the row number and column number are given to the same key, which is pressed twice to input the character symbol or picture symbol.

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ	か	き	く	け	こ
3	さ	し	す	せ	そ	さ	し	す	せ	そ
4	た	ち	つ	て	と	た	ち	つ	て	と
5	な	に	ぬ	ね	の	な	に	ぬ	ね	の
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	は	ひ	ふ	へ	ほ
7	ま	み	む	め	も	ま	み	む	め	も
8	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ	や
9	ら	り	る	れ	ろ	ら	り	る	れ	ろ
0	わ	を	ん	こ	の	へ	の	こ	の	へ

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.01.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 26.10.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-224629

(P2003-224629A)

(43) 公開日 平成15年8月8日 (2003.8.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	フォーマット* (参考)
H 0 4 M 1/00		H 0 4 M 1/00	R 5 B 0 2 0
G 0 6 F 3/023		G 0 6 F 3/023	3 1 0 K 5 K 0 2 7
H 0 3 M 11/08			

審査請求 有 請求項の数 2 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2002-62702(P2002-62702)

(22) 出願日 平成14年1月30日 (2002.1.30)

(71) 出願人 594092832

大▲ハマ▼ 義夫

広島県福山市▲柄▼町▲柄▼375番地

(72) 発明者 大▲ハマ▼ 義夫

広島県福山市▲柄▼町▲柄▼375番地

Fターム(参考) 5B020 FF14

5K027 AA11 BB02

(54) 【発明の名称】 携帯電話機器の入力システム

(57) 【要約】

【課題】従来の入力方法は循環式で入力する場合押すキーの数が多い

【解決手段】行番号と列番号の二度押しすることにより文字及び記号絵記号を入力する携帯電話機器の入力システムであり 同一キーに行番号と列番号を付し二度キーを押す事により文字記号、絵記号を入力する事ができる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご
3	さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
4	た	ち	つ	て	と	だ	ぢ	づ	で	ど
5	な	に	ぬ	ね	の	？	/	+	×	\$
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ
7	ま	み	む	め	も	ば	び	ぶ	べ	ぼ
8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	カ	ケ	#	!
9	ら	り	る	れ	ろ	%	&	*	()
0	わ	を	ん	っ	@	~	,	.	-	°

【特許請求の範囲】

【請求項1】テンキーの一回目の操作を行番号操作とし、二回目の操作を列番号操作とし、上記行番号操作と列番号操作の二度押し操作によりかな文字及び記号絵記号を入力する携帯電話機器の入力システム

【請求項2】テンキー以外に3段階に切り替える切り替えキーを設けこの切り替えキーの切り替えによりカタカナ及び記号絵記号、またはアルファベット及び記号絵記号を入力するようにしたことを特徴とする請求項1記載の携帯電話機器の入力システム

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、携帯電話機器などの入力方法に関するものである

【0002】

【従来の技術】従来の方法は、循環式である

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは、次のような欠点があった。

(イ)循環式のため、キーを押す数が多い

(ロ)任意の文字を入力するとき、押しすぎた場合もう一度循環させなければならない。一部機種ではバック機能が付いているが、キーを押す数が多い。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】テンキーのあ行に1、か行に2、さ行に3、た行に4、な行に5、は行に6、ま行に7、や行に8、ら行に9、わ行に0の行番号付す。行番号1の文字あいうえおあいうえおに列番号1～0を付し、行番号2の文字かきくけこがきくげこに列番号1～0を付し、行番号3の文字さしすせそざじずぜぞに列番号1～0を付し、行番号4の文字たちつてとだぢづでどに列番号1～0を付し、行番号5の文字なにぬねのに列番号1～0を付し、行番号6の文字はひふへほばびぶべばに列番号1～0を付し、行番号7の文字まみむめもばびふべばに列番号1～0を付し行番号8の文字やゆゃゅょゃに列番号1～0を付し、行番号9の文字らりるれろに列番号1～0を付し、行番号0の文字わをんに列番号1～0を付しその交差するところの文字、記号を入力する。ば行は便宜上ま行に付してあるが、な行もしくはら行に配置してもよい。な行の後ににゃにいにゅにえによを配置してもよい。その場合記号、絵記号は配置換えをするものとする。また記号の所は絵文字に変えてもよい。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する

あ行等に行番号1～0を付し、また同じ数字に列番号1～0を付し行番号1～0と列番号1～0の交差するとこ

ろが入力できる文字、記号、絵記号である。二回キーを押すだけで入力できる。行番号を押すとディスプレイに行番号に付してある文字が表示（非表示も可）され文字の上下左右に求める文字が表示され求める文字に相当する列番号を押す事により文字が入力できる。またアルファベットにおいては記号を各行ごとにディスプレイに表示（非表示も可）され文字の上下左右に求める文字に相当する列番号を押すことによりアルファベット及び記号が入力できる。入力の方法は以下のとおりである。

- 10 天皇陛下、内親王敬宮愛子様、誕生おめでとうござい
ます。これを行番号と列番号で入力するには、た行の行
番号4てを表示する列番号4、わ行の行番号0んを表示
する列番号3、な行の行番号5のを表示する列番号5、
あ行の行番号1うを表示する列番号3、は行の行番号6
へを表示する列番号4、あ行の行番号1いを表示する列
番号2、か行の行番号2かを表示する列番号1、な行の
行番号5なを表示する列番号1、あ行の行番号1いを表
示する列番号2、さ行の行番号3しを表示する列番号
2、わ行の行番号0んを表示する列番号3、な行の行番
号5のを表示する列番号5、あ行の行番号1うを表示す
る列番号3、た行の行番号5とを表示する列番号5、さ
行の行番号3しを表示する列番号2、な行の行番号5の
を表示する列番号5、ま行の行番号7みを表示する列番
号2、や行の行番号8やを表示する列番号1、あ行の行
番号1あを表示する列番号1、あ行の行番号1いを表示
する列番号2、か行の行番号2こを表示する列番号5、
さ行の行番号3さを表示する列番号1、ま行の行番号7
まを表示する列番号1、た行の行番号4たを表示する列
番号1、わ行の行番号0んを表示する列番号3、さ行の
行番号3じを表示する列番号7、や行の行番号8よを表
示する列番号6、あ行の行番号1うを表示する列番号3
あ行の行番号1うを表示する列番号3、あ行の行番号
1おを表示する列番号5、ま行の行番号7めを表示する
列番号4、た行の行番号4でを表示する列番号9、た行
の行番号4とを表示する列番号5、あ行の行番号1うを
表示する列番号3、か行の行番号2ごを表示する列番号
0、さ行の行番号3ざを表示する列番号6、あ行の行番
号1いを表示する列番号2、ま行の行番号7まを表示す
る列番号1、さ行の行番号3すを表示する列番号3、こ
れを数字で表示すると44.03.55.13.64.
12.21.51.12.32.03.55.13.4
5.32.55.72.81.11.12.25.3
1.71.41.03.37.86.13.15.7
4.49.45.13.20.36.12.71.3
3.以上の通り循環式で入力するより短時間で入力でき
るあまり私用されない文字などは以下のように入力す
る。う'あ、う'い、う'、う'え、う'お、を入力す
るにはうを入力して濁点キー09を押しその後拗音のあ
いうえおを入力する、数字入力すると、う'あは130
916、う'いは130917、う'は1309、う'

えは1319, うゝおは130910, の様に入力する。きゃ、きい、きゅ、きえ、きよを数字入力するには、きゃは2284, きいは2217, きゅは2285, きえは2219, きよは2286, のように入力する。ぎゃ、ぎい、ぎゅ、ぎえ、ぎよなどはぎを、入力してその後拗音を押す。数字入力するとぎゃは2784, , ぎいは2717, ぎゅは220918, ぎえは、220919, ぎよは、220986, の様に入力する。しゃは、3186, しいは、3117, しゅは、3186, , しえは3219, しよは3286, の様に入力する。じゃ、じい、じゅ、じえ、じよを数字入力するには、じゃは3784, じいは3717, じゅは、3785, じえは3719, じよは3786, の様に入力する。ちゃ、ちい、ちゅ、ちえ、ちよを数字入力するには、ちゃは4284, ちいは4217, ちゅは4285, ちえは4219, ちよは4286, の様に入力する。ちゃ、ちい、ちゅ、ちえ、ちよ、を数字入力するにはちゃは420984, ちいは420917, ちゅは420985, ちえは420919, ちよは420986, の様に入力する。てゃ、てい、てゅ、てえ、てよを数字入力するには、てゃは4484, ていは4417, てゅ4485, てえは4419, てよは4486, の様に入力する。でゃ、でい、でゅ、でえ、でよを数字入力するにはでゃは、440984, ていは、440917, でゅは、440985, でえは、440919, でよは、440986, の様に入力する。する。にゃ、にい、にゅ、にえ、によを数字入力するには、にゃは、5184, にいは、5117, にゅは、5185, にえは、5119, によは、5186, ひゃ、ひい、ひゅ、ひえ、ひよを数字入力するには、ひゃは、6284, ひいは、6217, ひゅは、6285, ひえは6219, ひよは6286, びゃ、びい、びゅ、びえ、びよを数字入力するにはびゃは、620984, びいは、620917, びゅは、620985, びえは620919, びよは、620986, びゃ、びい、びゅ、びえ、びよを

数字入力するには、びゃは、610084, びいは、610017, びゅは、610085, びえは、610019, びよは、610086, の様に入力する。ふぁ、ふい、ふえ、ふぁ、を数字入力するには、ふぁは、6316, ふいは6317, ふえは6319ふぁは、6310, の様に入力する。ふゃ、ふい、ふゅ、ふえ、ふよを数字入力するにはふゃは6384, ふいは、6317, ふゅは、6385, ふえは、6319, ふよは6386, の様に入力する。みゃ、みい、みゅ、みえ、みよを数字入力するにはみゃは、みゃは7284, みいは、7217, みゅは、7285, みえは、7219, みよは、7286, の様に入力する。りゃ、りい、りゅ、りえ、りよを数字入力するには、りゃは、9284, りいは、9217, りゅは9285, りえは9219, りよは、9286, 以上のように文字を数字入力する。漢字変換は、既存機種に依存する。またひらがな、カタカナ、アルファベットを切り替えるキーを、持つものとする。数字キーは、アルファベットの一行目にあるがどこに配置してもかまわない。*に句点#に読点を配置する。また29の変形Hはhttp://www. の略である。20の変形Hはhttp://の略である。また色を変えてもよい。

【0006】

【発明の効果】最低2ストロークで入力できるため入力が簡単にすむ。普段使わないキーでも6ストロークですむ。テンキー、パソコンのキーボード上のテンキー、ワープロ、電話帳等メモ付き電卓、PDA、電話、テープ、シール製造器、電子手帳などにも利用することが出来る

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のテーブル図である

【図2】本発明のアルファベットテーブル図である。

【符号の説明】

1 行番号

2 列番号

【図1】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご
3	さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
4	た	ち	つ	て	と	だ	ぢ	づ	で	ど
5	な	に	ぬ	ね	の	？	/	+	×	÷
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ
7	ま	み	む	め	も	ば	び	ぶ	べ	ぼ
8	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ	カ	ケ	#	!
9	ら	り	る	れ	ろ	%	&	*	()
0	わ	を	ん	っ	@	~	,	.	°	°

【図2】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
2	A	B	C	D	a	b	c	d	E	F
3	E	F	G	e	f	g	h	i	j	k
4	H	I	J	K	h	i	j	k	<	>
5	L	M	N	l	m	n	o	p	q	r
6	O	P	Q	R	o	p	q	r	~	
7	S	T	U	s	t	u	v	w	x	y
8	V	W	v	w	%	.	()	-	-
9	X	Y	Z	x	y	z	!	"	()
0	[]	.	_	:	♡	☺	TEL	☎	☎

【手続補正書】

【提出日】平成15年2月14日（2003. 2. 14）

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】テンキーの一回目の操作を行番号操作とし、二回目の操作を列番号操作とし、上記行番号操作と列番号操作の二度押し操作によりかな文字及び記号、絵記号を入力するシステムであって、上記行番号操作を行うと、行番号対応のかな文字、記号、絵記号がディスプレイに表示され、上記行番号対応のかな文字、記号、絵記号のそれぞれ上下左右の何れかに1～0の列番号が表示されその列番号から何れかを選択して上記列番号操作を行うことにより文字等を入力する様にした事を特徴とする携帯電話機器の入力システム

【請求項2】テンキー以外に3段階に切替える切替えキーを設けた切替えキーの切替えにより、ひらがな及びひらがな対応記号絵記号、カタカナ及びカタカナ対応記号絵記号、アルファベット及びアルファベット対応記号絵記号を入力するシステムであって上記切替えキーにより、ディスプレイ表示された切替記号に基づいて行番号操作を行うと、その行番号対応の文字、記号、絵文字がディスプレイに表示されると共にそれぞれの文字、記号、絵記号の上下左右の何れかに1～0の列番号が表示

され、その列番号操作を行うことにより文字等を入力する様にしたことを特徴とする請求項1記載の携帯電話機器の入力システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正内容】

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。あ行～わ行等に行番号1～0を付し、また同じ数字に列番号1～0を付し行番号1～0と列番号1～0の交差するところが入力できる文字、記号、絵記号である。二回キーを押すだけで入力できる。行番号を押すとディスプレイに行番号に付してある文字、記号、絵記号が表示（非表示も可）され文字の上下左右の何れかに1～0の列番号が表示されその列番号から何れかを選択して文字が入力できる。またアルファベットにおいては、大文字、小文字、記号、絵記号を各行ごとにディスプレイに表示（非表示も可）され文字の上下左右の何れかに1～0の列番号が表示されその何れかを選択することによりアルファベット及び記号、絵記号が入力できる。入力の方法は以下のとおりである。

天皇陛下、内親王敬宮愛子様、誕生おめでとうございませう。これを行番号と列番号で入力するには、た行の行番号4てを表示する列番号4、わ行の行番号0んを表示する列番号3、な行の行番号5のを表示する列番号5、あ

行の行番号1うを表示する列番号3、は行の列番号6へ
 を表示する列番号4、あ行の行番号1いを表示する列番
 号2、か行の行番号2かを表示する列番号1、な行の行
 番号5なを表示する列番号1、あ行の行番号1いを表示
 する列番号2、さ行の行番号3しを表示する列番号2、
 を行の行番号0んを表示する列番号3、な行の行番号5
 のを表示する列番号5、あ行の行番号1うを表示する列
 番号3、た行の行番号4とを表示する列番号5、さ行の
 行番号3しを表示する列番号2、な行の行番号5のを
 表示する列番号5、ま行の行番号7みを表示する列番号
 2、や行の行番号8やを表示する列番号1、あ行の行番
 号1あを表示する列番号1、あ行の行番号1いを表示す
 る列番号2、か行の行番号2こを表示する列番号5、さ
 行の行番号3さを表示する列番号1、ま行の行番号7ま
 を表示する列番号1、た行の行番号4たを表示する列番
 号1、わ行の行番号0んを表示する列番号3、さ行の行
 番号3じを表示する列番号7、や行の行番号8よを表示
 する列番号6、あ行の行番号1うを表示する列番号3、
 あ行の行番号1おを表示する列番号5、ま行の行番号7
 めを表示する列番号4、た行の行番号4でを表示する列
 番号9、た行の行番号4とを表示する列番号5、あ行の
 行番号1うを表示する列番号3、か行の行番号2ごを
 表示する列番号0、さ行の行番号3ざを表示する列番号
 6、あ行の行番号1いを表示する列番号2、ま行の行番
 号7まを表示する列番号1、さ行の行番号3すを表示す
 る列番号3、これを数字で表示すると、44、03、5
 5、13、64、12、21、51、12、32、0
 3、55、13、45、32、55、72、81、1
 1、12、25、31、71、41、03、37、8
 6、13、15、74、49、45、13、20、3
 6、12、71、33、以上の通り循環式で入力するより
 短時間で入力できる。あまり使用されない文字などは
 以下のとうりに入力する。う゛あ、う゛い、う゛え、う゛
 お、を入力するにはう゛を入力して濁音キー09
 を押しその後拗音キー一のあいうえおを入力する、数字入
 力するには、う゛あは130916、う゛いは1309
 17、う゛は1309、う゛えは130919、う゛お
 は130910、の様に入力する。きゃ、きい、きゅ、
 きえ、きょを数字入力するには、きゃは2284、きい
 は2217、きゅは2285、きえは2219、きょは
 2286、の様に入力する。ぎゃ、ぎい、ぎゅ、ぎえ、
 ぎょなどはぎを入力して、その後拗音を押す。数字入力
 するには、ぎゃは2784、ぎいは2717、ぎゅは2
 785、ぎえは2719、ぎょ2786、の様に入力す
 る。しゃ、しい、しゅ、しえ、しょを数字入力するに
は、しゃは3284、しいは3217、しゅは328
5、しえは3219、しょは3286、の様に入力す
る。じゃ、じい、じゅ、じえ、じょを数字入力するに
は、じゃは3784、じいは3717、じゅは378
5、じえは3719、じょは3786、の様に入力す

る。ちゃ、ちい、ちゅ、ちえ、ちょを数字入力するに
 は、ちゃは4284、ちいは4217、ちゅは428
 5、ちえは4219、ちょは4286、の様に入力す
 る。ちや、ちい、ちゅ、ちえ、ちょ、を数字入力するに
 は、ちやは4784、ちいは4717、ちゅは478
 5、ちえは4719、ちょは4786、の様に入力す
 る。てや、てい、てゅ、てえ、てよを数字入力するに
 は、てやは4484、ていは4417、てゅは448
 5、てえは4419、てよは4486、の様に入力す
 る。でや、でい、でゅ、でえ、でよを数字入力するに
 は、でやは4784、でいは4717、でゅは478
 5、でえは4719、でよは4786、の様に入力す
 る。にや、にい、にゅ、にえ、にょを数字入力するに
 は、にやは5284、にいは5217、にゅは528
 5、にえは5219、にょは5286、の様に入力す
 る。ひや、ひい、ひゅ、ひえ、ひょを数字入力するに
 は、ひやは6284、ひいは6217、ひゅは628
 5、ひえは6219、ひょは6286、の様に入力す
 る。びや、びい、びゅ、びえ、びょを数字入力するに
 は、びやは6784、びいは6717、びゅは678
 5、びえは6719、びょは6786、の様に入力す
 る。びや、びい、びゅ、びえ、びょを数字入力するに
 は、びやは7784、びいは7717、びゅは778
 5、びえは7719、びょは7786、の様に入力す
 る。ふあ、ふい、ふえ、ふおを数字入力するには、ふあ
 は6316、ふいは6317、ふえは6319、ふおは
 6310、の様に入力する。ふゃ、ふゅ、ふよを数字入
 力するには、ふゃは6384、ふゅは6385、ふよは
 6386、の様に入力する。みゃ、みい、みゅ、みえ、
 みょを数字入力するには、みゃは7284、みいは72
 17、みゅは7285、みえは7219、みょは728
 6、の様に入力する。りゃ、りい、りゅ、りえ、りょを
 数字入力するには、りゃは9284、りいは9217、
 りゅは9285、りえは9219、りょは9286、以
 上のように文字を数字入力する。漢字変換は、既存機種
 に依存する。またひらがな、カタカナ、アルファベット
 を切替える切替キーを、持つものとする。数字キーはア
 ルファベットの一行目にあるがどこに配置してもかまわ
 ない。＊に句点、＃に読点を配置する。またアルファベ
 ットテーブル図29の変形Hはhttp://www.
 の略号である。20の変形Hはhttp://の略号で
 ある。また色を変えてもよい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】

【発明の効果】最低2回押すことで入力できるため入力
 が簡単にすむ。普段使わないキーでも6回押すことで入

力が出来る。テンキー、パソコンのキーボード上のテンキー、ワープロ、電話帳等メモ付き電卓、PDA、電

話、テープ、シール製造器、電子手帳などにも利用することが出来る